

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34206	図書館実習 Internship Program (Librarianship)	江良 友子	専門	1	選択	2年 前期
科目の概要						
これまで図書館に関する科目で得た知識・技術を確実なものにするために、指定の図書館に赴き現場で実習を行う。事前に実習ガイダンスと実習先研究、そして実習後に実習報告会を行う。						
学修内容			到達目標			
① 図書館実習の目的・方法・心得等を学ぶ			① 社会人として相応しい身だしなみ、ふるまいを身に着けるとともに、図書館実習の目的、方法、心得等を知る			
② 実習先、実習業務について学ぶ			② 実習先、実習業務について事前に研究し、理解する			
③ 受け入れ先図書館で実習を行う			③ 図書館の現場で実践的知識を身に着ける			
④ 実習先図書館で「実習記録」を作成し、終了後「実習報告書」を作成する			④ 毎日「実習記録」を作成することで、反省点を翌日の実習に活かす。終了後「実習報告書」を作成することで、実習全体の振り返りをする。			
⑤ 実習報告会			⑤ 実習結果について各自報告を行い、成果・反省点を出すことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	言われる前に、やるべき仕事に気づくことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	仕事を探し、許可を経てから行動に移すことができる。				
考え抜く力	課題発見力	周りの人の動きを見ながら仕事をするすることができる。				
	計画力					
	創造力	図書館全体のバランスを考えながら、美しい書架配架ができる。				
チームで働く力	発信力	実習現場で経験した事について、わかりやすくまとめて発表することができる。				
	傾聴力	他の人の発表を、敬意をもって聞き、意見や感想を言うことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	決められた時間や規則を守って実習に従事することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 資料を配布する。実習用ファイルを各自に配布する。 自宅から実習先へ行くための交通費は自己負担とする。 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 図書館に関する科目全て 資格との関連: 図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
これまで学んできた図書館に関する科目全般をよく見直すこと。 図書館の現場で実務にあたることにより、図書館に関する科目で得た知識・技術を確実なものにすること。			実習先では社会人としてのふるまいを求められるため、服装、言葉遣いや態度などには十分注意する。 提出物の提出期限は必ず守ること。 配布した資料をなくさないように気を配ること。 実習先で確認印のもらい忘れがないように、実習最終日に全て確認すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	40	① ② ③ ✓ ④ ✓ ⑤	「実習記録」、「実習報告書」で評価する。 評価ポイント ・実習先図書館について調べる:課題「実習館の概要」提出(10点) ・実習記録を毎回記入(実習内容・感想・反省)し、図書館実習出席簿と合わせて責任者の印をもらっている。(10点) ・実習報告書に指定事項が記入されており、期日までに提出できている。(10点) ・実習終了後に受け入れ先図書館にお礼状を送付し、かつその写しが実習記録に添付されている。(10点)
成果発表 (口頭・実技)	20	① ② ③ ④ ⑤ ✓	実習成果報告会へ参加と発表、聞く態度で評価する 評価ポイント ・指定時間内にまとまった報告ができる(5点) ・聞き手にわかりやすい発表ができる(5点) ・集中して聞くことができる(5点) ・発表に対し、意見や感想を言うことができる(5点)
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ✓ ④ ⑤	(主体性)言われる前に、やるべき作業に気づくことができる。 (実行力)仕事を探し、許可を経てから行動に移すことができる。 (課題発見力)周りの人の動きを見ながら作業を進めることができる。 (創造力)図書館全体のバランスを考えながら、美しい書架配架ができる。 (発信力)読み聞かせなど、与えられた発表の場でこれまで学んできたことを活かすことができる。 (傾聴力)職員や利用者のお話をよく聞き、時と場所に合った適切な対応をすることができる。 (規律性)決められた時間や規則を守って実習に従事することができる。 ※以上7つの力について、実習先での作業に従事する姿勢・態度等を評価する。・・・10点
その他	30	① ✓ ② ✓ ③ ④ ⑤	実習前授業 ・日本十進分類法の類目表と9類の綱目表を覚える(6点) ・ブックコートのかかけ方を覚える(6点) ・書架整理方法を覚える(6点) ・貸出・返却方法を覚える(6点) ・実習先図書館毎に全員で、挨拶に行くことができる(6点)
総合評価割合	100		レポート、成果発表、学修態度、その他の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>S評価 レポート評価(「実習記録」、「実習報告書」)が総合で 36 点以上獲得できている。 成果発表が評価ポイントに基づいて 18 点以上獲得できている。 学修態度に記載してある各項目が達成できている。 その他の評価が総合で 27 点以上獲得できている。</p> <p>A評価 レポート評価(「実習記録」、「実習報告書」)が総合で 32 点以上獲得できている。 成果発表が評価ポイントに基づいて 16 点以上獲得できている。 学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている。 その他の評価が総合で 24 点以上獲得できている。</p>	<p>B評価 レポート評価(「実習記録」、「実習報告書」)が総合で 28 点以上獲得できている。 成果発表が評価ポイントに基づいて 14 点以上獲得できている。 学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている。 その他の評価が総合して 21 点以上獲得できている。</p> <p>C評価 レポート評価(「実習記録」、「実習報告書」)が総合で 24 点以上獲得できている。 成果発表が評価ポイントに基づいて 12 点以上獲得できている。 学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。 その他の評価が総合で 18 点以上獲得できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 図書館実習に必要なことを学ぶ	テスト 講義 質疑応答	図書館実習の目的、方法、心得等を知ることができる	(予習)図書館に関する科目全般を見直す 日本十進分類法の類目標と9類の綱目表を覚える。 (宿題)実習先図書館について調べる	180	傾聴力 規律性
2週 /	事前研究 図書館実習を有意義に行うために、実習先図書館調査と事前研修を受ける	講義 質疑応答 演習 実習先調査の用紙を提出	実習先、実習業務についての事前指導、実習先についての事前研究を行うことができる	図書館に関する科目全般を見直す	180	傾聴力 規律性
3週 /	実習	実習	実習先図書館で実習を行う、毎回「実習記録」を作成する、終了後は「実習報告」を作成することができる。	図書館に関する科目全般を見直す。	60	主体性 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4週 /					60	
5週 /					60	
6週 /					60	
7週 /					60	
8週 /					60	
9週 /					60	
10週 /					60	
11週 /					60	
12週 /					60	
13週 /					60	
14週 /					60	
15週 /	事後報告 反省会から成果と改善点を学ぶ	演習 実習ファイルの提出	実習結果について各自報告を行い、成果・反省点を話し合うことができる	(予習)「実習記録」、「実習報告」を見直す	60	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

